

# 24時間365日、迅速・適切な管理を行っています。

横山ダムのダム管理には、洪水時の「高水管理」とダム機能維持のための「日常管理」という2つの種類があります。緊急時にダム機能を最大限に発揮するため欠かせない日常のダム管理。適切なゲート操作を行いダム下流域を洪水被害から守る洪水時のダム管理。横山ダムは24時間365日休むことはありません。

## 横山ダムの業務

### 事務担当

- 平常時**  
庁舎管理や職員の健康管理等のほか、河川法に基づく許認可申請の受付等を行っています。また、見学を希望される方のご案内や取材対応など、横山ダムを広く知っていただくための広報業務も行っています。
- 洪水時**  
ダムからの放流を知らせる警報サイレンが正常に作動しているか、川の中に人が入っていないか等を確認するため、ダム下流のパトロールを行います。



### 土木担当

- 平常時**  
ダム堤体内や貯水池の巡視を行い、問題がある箇所については発注準備や関係機関との調整を行い、速やかに修繕を行います。また、ダムの維持管理に関わる工事の監督を担当し、いつでもダムが本来の力を発揮できるようにします。
- 洪水時**  
雨量予測や河川の流量等を考慮し、ダムの操作を行います。上下流のダムや関係機関との連絡調整も担当します。



- 横山ダムの2つの管理**
  - 高水管理**  
梅雨や台風などで大雨が降ったとき、適切な洪水調節を行い、ダム下流の洪水の被害を軽減します。
  - 日常管理**  
いつでも本来のダム機能が発揮できるよう、ダム堤体やゲートなどの設備点検、貯水池の巡視などを行います。



### 機械設備担当

- 平常時**  
ゲート設備、浮沈フェンス等、機械関係の管理を行っています。機械設備が本来の機能を発揮できるように、点検や補修計画の立案、工事の監督業務を行います。
- 洪水時**  
ゲート放流を行う前に、ゲートや油圧に異常がないか点検を行います。

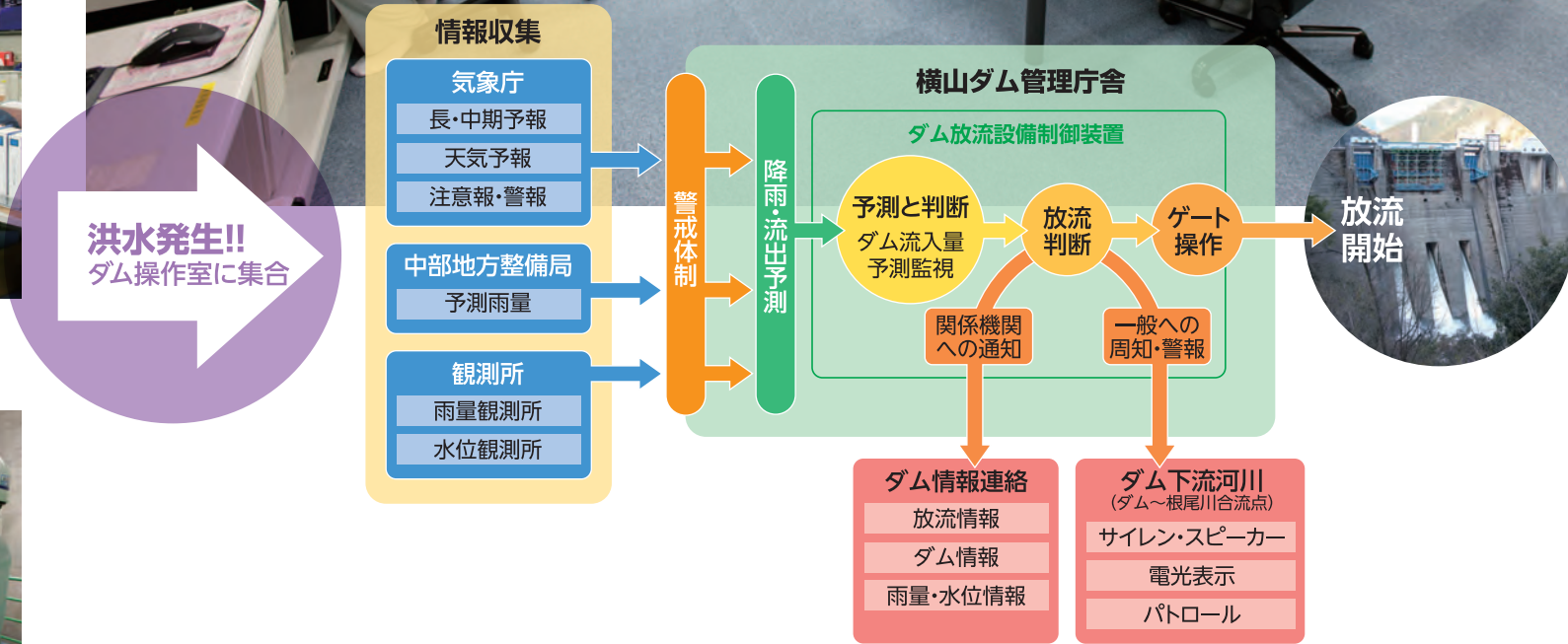


### 電気通信設備担当

- 平常時**  
ダム関連の電気通信設備、警報設備、各種表示施設の管理を行っています。各設備の状況を把握し、事前に修繕作業を施すことで、トラブルの発生を未然に防ぎます。また、今後の設備改修や設備の導入計画の立案も行います。
- 洪水時**  
警報サイレンの稼動、表示板の表示・制御などを行います。



## 洪水時のダム管理



### ■ダム放流までの流れ

- 情報の入手**  
ダム情報や変化する気象、河川水位などの情報を入手します。
- 洪水を予測**  
情報をもとに今後の洪水状況を予測します。
- ダム情報連絡**  
ゲートからの放流を開始する時などは事前に関係市町村等に通知します。
- 下流地域への周知**  
下流地域にサイレン、情報板等で放流情報を周知します。
- 放流前のゲート点検**  
実際に油圧ポンプを動かし、電流値などに異常がないか確認します。
- 下流地域をパトロール**  
警報サイレンが作動しているか、河川内に人がいないか、巡視を行います。
- ゲート操作**  
ゲートを操作して、ダムからの放流を行います。
- ダム情報記載**  
ダム操作内容や関係機関との調整状況などをその都度書き出し確認します。